

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	らすとらーだかんぱにー ラストラーダカンパニー株式会社	団体ウェブサイトURL	https://www.lastradacompany.net/
代表者職・氏名	代表取締役・兵藤禎晃		
制作団体所在地	〒 453-0801	最寄り駅(バス停)	名古屋駅
	愛知県名古屋市中村区太閤1-7-20		
電話番号	050-6872-8646		
ふりがな 公演団体名	らすとらーだかんぱにー ラストラーダカンパニー	団体ウェブサイトURL	https://www.lastradacompany.net/
代表者職・氏名	代表・兵藤禎晃		
公演団体所在地	〒 453-0838	最寄り駅(バス停)	バス停向島町5丁目
	愛知県名古屋市中村区向島町3-14-201		
制作団体 設立年月	平成16年12月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役・兵藤禎晃 取締役・兵藤愛子	役員2名(常勤) 事務員1名 演技部5名 創造部5名 【加入条件】団体理念に賛同し、審査に合格すること。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者置く	本事業担当者名	兵藤禎晃・林みどり
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	兵藤愛子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	lastrada.clown@gmail.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>【ラストラーダカンパニー有限公司】 平成16年 兵藤洋子が前進となる有限会社プリマヴェーラを創立。 平成30年 国内外のサーカス等で経験を積んだ道化師芸歴22年の兵藤禎晃と兵藤愛子が入社。 平成30年 代表取締役、取締役役に就任し、舞台芸術部門 劇団「ラストラーダカンパニー」を設立。 令和2年 国際児童青少年舞台芸術協会assitej世界大会において『サーカスの灯』が、国内5作品に選出。 令和3年 「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」において『サーカスの灯』が、プログラム選択型に選定、上演。 令和4年 『らふいゆれふいゆ』が国際芸術祭「あいち2022」で上演。 「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」において『サーカスの灯』が、プログラム選択型に選定、上演。 令和5年 社名を「ラストラーダカンパニー有限公司」に変更し、舞台芸術活動に専従。</p> <p>【主な受賞歴】 令和3年 Changが名古屋市文化振興事業団より、《第37回芸術創造賞》受賞。 令和5年 LONTOが、《愛知県芸術文化選奨》受賞。 平成30年 『コメディ・クラウン・サーカス』《児童福祉文化賞》受賞。 令和5年 『らふいゆれふいゆ』《児童福祉文化賞推薦作品》受賞。 『サーカスの灯』『らふいゆれふいゆ』『らぐずたいむ』が《児童福祉文化財》に推薦されている。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>道化師として活動を始めた平成8年から小学校や中学校、高校、専門学校、養護学校、聾学校、特別支援学校のほか、海外の各種学校での公演やパフォーマンス指導の経験も豊富。</p> <p>平成30年から学校公演実績 累計 約120公演</p> <p>(直近) 令和4年度 累計 81公演(サーカスの灯、らぐずたいむ、らふいゆれふいゆ、その他) 令和5年度 累計 94公演(サーカスの灯、らぐずたいむ、らふいゆれふいゆ、その他) 令和6年度見込み 累計 87公演(サーカスの灯、らぐずたいむ、らふいゆれふいゆ、その他)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度「コミュニケーションワークショップ」鹿児島聾学校(文化芸術による子供の育成事業) ・平成30年 「コメディ・クラウン・サーカス」京都市中丹支援学校、愛知県立佐織特別支援学校 ・令和3年 「サーカスの灯」京都市立北総合支援学校(支援事業プログラム選択型) ・令和4年 「サーカスの灯」京都府立聾学校 ・令和5年 「サーカスの灯」京都聾学校舞鶴分校 		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=Y1wLfczaxCY</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ラストラーダカンパニー】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	それぞれの個性を見つけ尊重しよう 音楽劇「らふいゆれふいゆ」
-----	--------------------------------

企画のねらい	<p>子どもの頃に体験したこと、感動したこと、驚いたこと、それらは大人になってからも根強く記憶の中に刻まれ、現在の生活や職業に影響されています。私自身も小学校で見た芸術鑑賞会での感動が忘れられず、あの時の感動を今の子どもたちにも伝えたいと願い、上演を続けています。</p> <p>学校で生の舞台芸術に触れることで、いつものクラスメイトの違う一面が見れたり、体育館がいつもと違う舞台空間に変わってびっくりしたり、観終わった後の高揚感、感動など、子ども達の心は随時揺さぶられます。感受性豊かな小・中学生時代だからこそ、優れた舞台芸術を体験し、今後の生きる道標となればと願います。</p> <p>美しい舞台美術、道化師の考え方や表現方法、「遊び」と他者とのコミュニケーション、音楽家の苦悩や葛藤を通した達成感が描かれた本作品は、子どもたちがこれから自分の人生を切り開いていくために求められる思考力・判断力・表現力を育み、様々な状況に対応できる資質・能力を育成する一助となります。</p> <p>言葉のない舞台表現を観て、児童生徒は自ら出演者の心情やドラマを読み取り、頭の中で言語化して、自分だけの物語を完成させます。それはそれぞれの発達段階に応じた情報理解力を育みます。また、身近な楽器への関わりや作曲の面白さ、身体的表現、コミュニケーション、障がい者理解等の教育的効果も期待でき、日々の生活や授業に直結する体験活動になります。</p> <p>企画を経て、表情、身体、心が語る豊かな表現を見逃さず、自分の夢や可能性を信じて努力できるよう、また、他者の夢や可能性も応援でき、切磋琢磨できる人になってほしいと考えています。</p> <p>優れた舞台芸術鑑賞体験が将来の舞台芸術鑑賞者の育成や後継者育成につながっていくことも期待しています。</p>
--------	--

演目概要・演目選択理由	<p>【あらすじ】 落ち葉が舞い散る頃、楽譜を持った1人の音楽家が悩みながらやってきた。そこに現れたのは旅芸人の気ままな道化師2人組。両者が出会い、考え方も表現も違う者同士が少しずつ距離を縮めていき、曲を完成させてゆく。</p> <p>数々の楽器の生演奏とパントマイムという身体表現で構成された落ち葉の中で繰り広げられる楽しくも美しいソンバーバル(言葉のない)舞台です。</p> <p>【テーマ】 個性も考え方も全く違う3人が同じ場所に集うと、時には、ぶつかったり、鬱陶しかったり、楽しかったり、心地よかったり…。自分にも他人にもそれぞれの魅力を見出すことができれば世界は色とりどりの鮮やかな世界に変わる。本作品では、個性の違う3人のキャラクターと、舞台上に敷き詰められた1枚1枚の色も形も違う落ち葉と重ね合わせながら子ども達には人と違うことを、嫌ったり、恥ずかしかったり、受け入れなかったりとマイナスに捉えるのではなく、違うからこそ面白い、唯一無二の自分とそれぞれの存在や価値観を認め合いプラスに捉える考え方を伝えています。</p> <p>豊かな体験を通して、自分の個性や魅力、可能性に気づき、他者の個性を認め、人より優れていることだけでないそれぞれの魅力を活かし、未来を切り拓き、一人一人が必要とされる社会を形成する大人に成長してもらいたいと考えています。</p> <p>【遊びと創造】 本作品では、道化師と音楽家がさまざまな「遊び」の要素を取り入れたやり取りをしながら親しくなっていくプロセスが描かれています。作曲することの苦悩が描かれ、その苦悩から逃げずに、他者と関わりながら試行錯誤と葛藤の末、新たな曲を創作できた、という達成感が表現されています。まさに、芸術や科学などすべての創造過程に共通することです。観客は、大笑いしながら、深く豊かなテーマである「遊び」と創造性、他者とのコミュニケーション、苦悩と葛藤を通した達成感などを面白がったり、大笑いしながら、心身に染み込ませていきます。</p> <p>曲の創造過程では、子どもの「遊び」の要素をふだんに使い、創造の源泉が「遊び」であることを示しています。この「遊び」は、1人ではなくグループで、他者と一緒に「遊ぶ」ことを通して、人はさまざまな体験をして、さまざまなアイデアを得て、楽しさを共有でき、新たな創造を生み出すことができることが表現されています。</p> <p>本作品は、こども家庭庁《児童福祉文化賞推薦作品》受賞、中国児童芸術学院「中国児童演劇フェスティバル」作品、国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術作品にも選ばれ、優れた芸術性と教育的効果の高さが認められました。令和5年度「学校巡回公演事業」フィードバックシートでは、「迅速かつ丁寧、臨機応変な実施体制」、「質の高いワークショップ内容」、「芸術性の高い本公演」と高評価をいただいております。今回の申請にあたり、本企画がより効果的な芸術体験となり、教科横断的な学びの機会となるよう、再構築、再演出をしています。</p>
-------------	--

児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>★《旅芸人に扮して共演》冒頭、道化師の登場と合わせて、10名程の児童・生徒が事前ワークショップで2グループにわかれて創作したパントマイムを、道化師と共に衣装をつけて共演します。個性溢れる共演ショーで観客を惹きつけます。</p> <p>★《全員参加》中盤、急遽道化師が提案する指遊びに客席全体の全校児童・生徒が挑戦！ 終盤、客席に逃げ込んだ道化師とそれを追う音楽家が客席全体を巻き込み、楽しく盛り上がり一体感のあるクライマックスに向かいます。</p> <p>★《交流タイム》終演後、出演者が交流しながら児童・生徒全員を見送ります。ご希望により質疑応答やクイズを交えての舞台美術、照明システム、音楽制作等を紹介することができます。バックステージツアー、バラシ搬出体験、交流会も可能です。</p>
-----------------	--

児童・生徒の 参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	10名前後				
			鑑賞人数目安	350名				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目:「らふいゆれふいゆ」							
	演出・美術:LONTO 音楽:シモシユ 照明:御原祥子 《演奏指導》Violin:まどかまるこ Flute:RIMAKO <div style="text-align: right;">公演時間 70 分</div>							
出演者	出演者 音楽家:シモシユ 旅芸人の道化師:Chang(チャン) 旅芸人の道化師:LONTO(ロント) 計 3名							
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>★シモシユ(芸歴35年)…作曲家、ピアニスト。松平健など数多くのシンガーのサポート演奏でも活躍。2015年モンゴルのウランバートル、ドラマ劇場にて日本人初のピアノコンサートを開催。最近ではコンサート演出やCDプロデュースなどでも活躍。</p> <p>★Chang(チャン)(芸歴28年)…国内外で道化を学ぶ。モンゴル国立サーカス短期留学。アメリカの道化師世界大会団体部門金賞。モンゴル国際マ임フェスティバル銀賞。名古屋市芸術創造賞受賞。ラスベガス、ニューヨーク、モンゴル、イギリス、イタリア、中国、韓国等のサーカスやフェスティバルに出演など海外でも活躍。</p> <p>★LONTO(ロント)(芸歴25年)…国内外で道化を学ぶ。アメリカの道化師世界大会団体部門、個人部門共に金賞。モンゴル国際マ임フェスティバル銀賞。愛知県芸術創造賞受賞。ラスベガス、ニューヨーク、モンゴル、イギリス、イタリア、中国、韓国等のサーカスやフェスティバルに出演など海外でも活躍。</p>							
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 3 名 スタッフ: 4 名 <hr/> 合計: 7 名		運搬	積載量: 1 t 車長: 5 m 台数: 2 台				
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	9時	9時～12時(共演児童リハーサル11時以降45分程度)		13時～14時10分	0分	14時30分～16時	16時30分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。							

本公演 実施可能日数目安	6月	7月	8月	9月
	10日			10日
※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	10月	11月	12月	1月
	10日	10日	10日	10日
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	60日



←舞台と客席の仕込みの様子

体育館のステージは使用しません。
体育館のフロアに舞台を設置します。
舞台設置に必要な面積約14m×8m

↓冒頭のシーン

旅芸人に扮した児童がパントマイムを披露、
創作の演技や道化師とのやりとりで会場は
盛り上がり、観客を舞台の世界に引き込み
ます。



←作曲に悩む音楽家が迷い込んできました。



中盤、客席とのやりとり



ピアノから人が出てきたり、不思議
がたくさん！→



曲の完成！



↑三人での演奏会のフィナーレは、
客席の中にも！
←間近で生の楽器演奏を聴けます。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況 使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

あり

【公演団体名 ラストラーダカンパニー 】

ワークショップの
ねらい**★本公演鑑賞が楽しみになり、より豊かな体験に**

「言葉のない舞台って?」「道化師と音楽家の演劇?」と疑問や不安もあるかもしれません。道化師の歴史や考え方、音楽家との合作のプロセス、作品に込めた思い、見どころをわかりやすく簡潔にお話することで、本公演をより深く理解し、多彩な感性の集合体である総合芸術としての舞台を主体的に享受でき、芸術鑑賞能力の向上を図ります。

★表現する不安を払拭し、身体表現の楽しさを発見**【伝える力】**

日本人は感情表現などのリアクションを外に出すことが苦手だと言われています。もちろん、笑う、拍手をする、返事をする、驚く、声を掛ける…などリアクションにも様々なものがあります。ワークショップでは感じたことを外に出す、ということにも注目していきます。

ワークショップの刺激を受け、終了後もやってみたい、上手になりたい、家族、友だちに見せたい、というように感動が持続していくよう心がけています。

★言葉だけに頼らないコミュニケーション能力の向上**【言語と非言語のズレ】**

物事を伝える上での言語は必要不可欠ではありますが、言語以外の情報を得る事も実に重要です。言語と非言語が一致していないことで、相手を混乱させることになります。どのように伝わるのか、どこを受け取るのか、にも意識していきます。

【見る力】【読み取る力】

携帯やタブレットを見ることの多い中、外を向き周りを観ることも大切です。誰かが何かを伝えようとしても、下を見ていたら気づくことができません。パントマイムを通して表情や身体表現から、まずは相手を観察し、どんな所に読み取るヒントが隠されているかなどについても考えます。

★個性を再発見し、創作する達成感を味わおう**【個々の力】**

パントマイムの技術を学ぶのと同時に表現も学びます。それは正解も不正解もない自分ならではの表現を見つけるとのこと。技術自体は皆同じことを学んでも表現は人それぞれ違い、自分自身が何を感じるのかの気づきに触れていきます。

自分の表現により伝えた相手はどのような反応をするのか、また見る側、伝えられる側はどのように受けとると良いのかなど発信側、受信側ともに体験し考えていきます。

ワークショップを通し、個々の表現を伸ばすとともに、子ども達同士もそれぞれの表現を楽しみ、興味を持ってもらうことも目的の一つです。

【創造性】

個性を活かした表現、各自で考えたストーリーなどアイデアを出し合いながら創作を進め、最後には発表します。

「創る楽しさ」「観る楽しさ」「表現する楽しさ」を体感することにより子ども達の創造性、コミュニケーション能力を引き出します。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	第一部:全校児童・生徒 第二部:10名前後(共演)
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>所要時間 全90～100分程度(2校時)を第一部、第二部に分けて行います。</p>		
	<p>【第一部】(全校児童・生徒対象) まず講師の自己紹介を行います。パフォーマンスを交え、コミュニケーションを取りながら、子どもたちとの信頼関係を築いていきます。 <u>[表現力・身体表現指導]<25分></u> ①アイスブレーキング 音楽を使いながらウォーミングアップ、リズムゲーム、コミュニケーションゲームなどで子どもたちの緊張感をほぐし、講師との距離を縮め、心を解放していきます。使用する音楽は舞台が楽しみになるよう、劇中曲を使用します。 ②デモンストレーション パントマイムの実演を鑑賞することで、今から自分で挑戦する期待感を刺激します。「喋っていないのに頭の中でセリフが聞こえてくる」なんて感じたり、言葉なくコミュニケーションが取れる面白さを体験します。 ③テクニック指導 短時間でも繰り返し練習することで、技術が向上し、できる楽しさを実感できるよう工夫して指導しています。また、パントマイムの技術指導だけでなく、実際にはないものは想像して、表現したり、リアクションするなどの感情表現、観客への伝え方、見せ方など、演劇的な指導も行います。 <u>[鑑賞指導] <15分></u> 子どもたちは、本公演のような言葉のない舞台を見る機会は少ないと思いますので、作品創作の想いや見どころ、なぜ言葉の表現を選ばなかったか等こだわりとその魅力を伝えます。 道化師やパントマイムが発展していった歴史的背景(言論の自由等)をわかりやすく紹介します。 失敗や辛いこと、コンプレックスも笑いに変えて、みんなを笑顔にする道化師ならではの考え方は自己肯定感を高めます。 まとめ<5分> ワークショップの振り返りを行い、感想、質疑応答をし、丁寧にまとめます。</p> <p>《休憩》</p> <p>【第二部】(共演児童・生徒対象) <u>[共演練習]</u> コミュニケーションゲーム<10分> 歩きゲームやアイコンタクトゲームを通して、講師である出演者と共演する児童・生徒とも信頼関係を築き、意思疎通をスムーズにしていきます。舞台上では出演者と観客、出演者同士でも、コミュニケーションをとったり、空間や状況を把握しながら演技をしています。 作品作り<20分> 第一部で学んだ技術を復習しながら、2グループに分かれ、共演のシーン出演者と作っていきます。児童・生徒のそれぞれ持つ個性を活かし、魅力を引き出す演出をし、何度もシーンを繰り返すうちに子どもたちからも自発的にアイデアが出るよう、肯定的かつ協力して創作していきます。 ミニ発表会(10分) お互いのシーンを観せ合います。うまくできたか、間違えなかったかよりも、仲間と一緒に演じる楽しさや笑ってもらえる喜び、シーンが完成した達成感を大切にしています。演じる側も、見る側も想像力と思いやりを持って、笑ったり、応援したり、心配したり、感動する、感じたことを素直に表現する喜びを感じてもらいたいと思います。 ⑦まとめ<5分> ワークショップの振り返りを行い、感想、質疑応答をし、丁寧にまとめます。</p> <p style="text-align: right;">(別添1参照)</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>衣装や小道具等はすべて劇団で準備していますのでご安心ください。 学校の要望にも柔軟に対応し、児童・生徒のやってみたいことなど、声を聞き、より興味を持って参加できるような体験機会を創出します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由 【公演団体名 <u>ラストラダカンパニー</u>】	
本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>私たちは、すべての子どもたちが自分自身を大切にして、同じように他者も大切に思い、豊かな鑑賞体験を通して、自分自身の魅力や可能性を発見してほしいと願い、地域格差や経済的格差を乗り越えてノンバーバルバリアフリー劇を目指して活動を続けています。</p> <p>【ノンバーバル演劇と道化師的手法】</p> <p>言葉を持たない登場人物たちが何を思い、何に困っているのか、じっくり考え、想像することは思いやりにつながります。言葉は話すだけではありません。心の中にもたくさん言葉があります。話せない気持ちや伝えることが難しい場合もあります。でも心の声を見て、聞くことができたならば小さなSOSにも気づけるかもしれません。近年SNSやメール等、文字で情報を得ることが急激に増え、それらは時に便利で、より早く多くの情報を得ることができます。でも情報とは別に、自分で考える力、発想力、想像力、そして自分が今、何を感じているのかが重要だと考えています。そんな力が子どもたちに根付いてくれることを願っています。</p> <p>【バリアフリー劇】</p> <p>言葉に頼らず、視覚的にダイレクトに物語を伝え、感情描写に優れ情景を豊かに映し出す音楽に支えられた本作品には、多国籍による文化の違いや言語の壁、多様化した障がい、社会的格差を超えて、平等に舞台芸術を鑑賞できるという魅力があります。感性や創造性、多様性を尊重した演出で、分け隔てなく楽しめる舞台となっており、多様化した家庭環境の児童・生徒がそれぞれの成長過程に合わせて、音楽家の悩みや過去の出来事、道化師の現状の捉え方、生きる考え方、それぞれの夢や未来などを自分に引き寄せて享受できると考えております。</p> <p>本事業の目的と重なる私たちの活動を日本全国に届けられる貴重な機会と理解し、体験、共演、鑑賞という豊かな舞台芸術体験に誠心誠意取り組む所存で申請致します。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>本事業主任担当者が出演も兼任していますが、制作スタッフ・事務スタッフ・経理スタッフを配置し、実施体制を整えています。</p> <p>ご担当の先生はじめ、校長、教頭先生に電話やメール等都合の良い連絡を選び、年間予定や前後の行事、児童生徒の様子など、十分なヒアリングを行いながらも、できる限り先生方へ負担をかけないよう日程調整から効率的に進めます。各校のニーズを踏まえ、ワークショップ、本公演も児童・生徒一人一人の貴重な体験となるよう、臨機応変に対応しています。事業の進行や撮影等プライバシー保護、有事の際の対応、感染症等の対応についても、専用シートを作成して、書面で確認でき、柔軟かつきめ細やかな電話対応でフォローすることにより、実施する学校に不安なく事業に取り組めるよう配慮しています。</p> <p>本事業の趣旨や実施内容に関して、丁寧に確認し合い、ご理解のもと、学校と協力して進めていきます。本企画のように言葉のない舞台は普段触れる機会が少ないと思いますので、先生方の不安を解消できるよう、ワークショップ、本公演の様子をまとめた資料を配布しています。</p> <p>資料にはストーリーや演出意図、演者紹介、鑑賞のポイント等がわかりやすく掲載されており、実際公演を観劇された方による感想も多数掲載しています。動画は「セリフのない演劇って？」という方にもわかりやすく、本公演のイメージが湧き、楽しみになると好評を得ています。</p> <p>児童育成協会「児童館における児童福祉文化財を活用した遊びのプログラム」に2年間上演劇団として関わり、専門員にも抜擢され、「文化芸術による子供の育成事業ーコミュニケーション能力向上事業ー」で講師も務めた豊かな経験を最大限に生かし、配慮が必要な事項(障がいや特性等)を確認し、先生方の想いに沿って企画を進めます。ワークショップの休憩時間や準備の際には積極的に児童・生徒・先生方とも交流を図り、教える/教えられる、観る/演じるの一方通行でない、信頼関係を築き、作品に対する想いや文化芸術の魅力を伝えていき、本公演が楽しみになる工夫をしています。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.3

【公演団体名

ラストラーダカンパニー

】

【第一部】（全校児童生徒対象）の様子



アイスブレイキング

音楽を使いながらウォーミングアップ、リズムゲーム、コミュニケーションゲームなどで子どもたちの緊張感をほぐし、講師との距離を縮め、心を解放していきます。



テクニック指導

短時間でも繰り返し練習することで、技術が向上し、できる楽しさを実感できるよう工夫して指導しています。また、パントマイムの技術指導だけでなく、実際にはないものは想像して、表現したり、リアクションするなどの感情表現、観客への伝え方、見せ方など、演劇的な指導も行います。

ワークショップ
実施形態及び内容

【第二部】（共演児童生徒対象）の様子



作品作り

2グループに分かれ、共演のシーンを出演者と作っていきます。児童生徒のそれぞれ持つ個性を活かし、魅力を引き出す演出をし、何度もシーンを繰り返すうちに子どもたちからも自発的にアイデアが出るよう、肯定的かつ協力して創作していきます。



ミニ発表会

お互いのシーンを観せ合います。うまくできたか、間違えなかったかよりも、仲間と一緒に演じる楽しさや笑ってもらえる喜び、シーンが完成した達成感を大切にしています。